

## 担当課ヒアリングに伴う、事前質問および資料請求内容

## ID4: 鳥取砂丘・いなば温泉郷を核とした観光ブランドの確立

(担当: 観光・ジオパーク推進課)

No	各委員からの質問・意見	回答・説明
1	「麒麟のまち」における本市のスタンス・位置づけがよくわからない。	<p>中核市への移行に伴い、鳥取因幡と兵庫県新温泉町(1市5町)の圏域の特徴を最大限に生かした生活機能確保のため、連携中枢都市圏構想の推進を図り、自治体が連携・協力して圏域全体の活性化と定住できる圏域づくりを進めているところです。</p> <p>観光分野については、兵庫県香美町も含め、古くから歴史や文化、生活圈を共有する鳥取因幡・北但西部の1市6町からなる地域連携DMO「麒麟のまち観光局」を設立し、麒麟のまち圏域全体を一つのブランドとして捉え、キャッチコピーやロゴマークなどを作成し国内外への情報発信による知名度UPを進めています。また、地域資源の魅力向上を図り旅行商品や観光ルートを造成して観光誘客につなげ、宿泊、交通、飲食等の観光産業の活性化の促進に取り組んでいます。</p>
2	「麒麟のまち」と謳うことによる本市におけるメリットがわかりにくい。	<p>近年の旅行スタイルは、日本人、訪日外国人を問わず個人・小グループでの旅行スタイルが主流となってきており、観光誘客を図るうえでは、いかにより多くの魅力ある観光資源をネットワーク化できるかが重要となります。従前より鳥取・因幡観光ネットワーク協議会が県東部1市4町の枠組みの中でその牽引役を担ってきましたが、さらなる圏域の底上げに向けて、北但西部2町を含めた「麒麟のまち圏域」として広域観光の取り組み強化を図っており、本市をはじめ圏域全体にとって観光誘客の促進につながるものと考えています。</p> <p>また、今年5月には「麒麟のまち圏域」をモチーフにしたストーリー「日本海の風が生んだ絶景と秘境～幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」」が日本遺産に認定され、国内外への情報発信と誘客プロモーション等も展開されるため、今後益々観光振興が進み、麒麟のまち圏域の経済活性化が期待されるものと考えます。</p>
3	H27の301万人から268万人まで下落した理由をどのように分析しているか。	<p>減少の要因としては、平成26年4月からの貸し切りバス運賃改正によるバスツアー料金の値上げ、平成28年10月に発生した鳥取中部地震、平成29年2月の大雪、平成30年7月の西日本豪雨をはじめとする多くの台風発生など自然災害の影響等により、国内旅行者を中心に観光客が減少しているものと考えています。</p>
4	この現状で進捗・達成度ともに概ね順調・目標通りでいいのか。	<p>第6次鳥取市行財政改革大綱実施計画 評価シート(判定レベル)に基づいた評価であり、現状は認識しています。平成27年度と比較した場合実績が下回っているものの、過去4年間においては本市の宿泊客数は上昇傾向にあり、観光客の入込客数についても昨年度実績を上回っています。引き続き目標達成に向けた取組強化を図って参ります。</p>
5	H31は日韓関係の悪化でさらに落ち込みそうだがインバウンド対策は？	<p>今年度8月までの韓国からの宿泊者数は1,226人で、前年度と比べ60人減(4.7%減)となっていますが、本市全体の訪日外国人観光客の宿泊数は15,848人で、前年度と比べ1,778人増(12.6%増)となっています。特に本市が誘客に力を入れている台湾については1,870人となっており、前年より763人増加(68.9%増)しています。また、9月から就航している台湾ー鳥取のインバウンドチャーターを好機とらえて、より一層の観光PRを展開しインバウンド誘客を推進していきたいと考えています。</p>
6	ターゲットを若年層及び訪日外国人としているが、現在の観光客数の中での割合はどうなっているか。	<p>麒麟のまち観光局の調べによれば、平成29年度の統計情報分析における若年層の観光客数の割合は、10代が約3%、20代が約24%、30代が約17%、40代が約19%となっています。(40代以下:約63%) また、訪日外国人については、平成30年度鳥取市内宿泊者数によれば、全体の約7%となっています。</p>

7	「羽田-鳥取の訪日外国人誘客事業」とあるが、なぜ、羽田からの外国人誘客にターゲットを当てるのか、理由を知りたい。	成田空港と羽田空港から入国した訪日外国人は、関西国際空港の約1.6倍あり、関東から訪日外国人を呼び込む取組はとても重要であると考えています。インバウンドを対象とした国内線格安チケットが各航空会社で販売されており、これを利用した外国人誘客を図るため、羽田空港からの外国人をターゲットとしてこの事業を行っています。
8	H30年度の実績で、観光商品の造成において欧米豪をターゲットとしている理由はなぜか。また、新たに造成した観光商品について、具体的にどのようなものがあるのか教えていただきたい。	平成30年の訪日外国人旅行者数の内訳では、中国、韓国、台湾など東アジアが約75%、タイ、シンガポールなど東南アジアが約10%とアジアだけで全体の85%を占めており、欧米豪の市場の取組が重要となっています。また、訪日外国人一人当たりの旅行支出が高い10カ国中7カ国が欧米豪からの旅行者となっているため、航空事業者と連携しながら、欧米豪をターゲットとした商品造成に取り組んでいます。造成した商品としては、航空旅券+宿泊に鳥取砂丘でのアクティビティや魚の焼き体験、地酒の利き酒などを組み合わせたツアーなどニーズに応じた内容としています。
9	インバウンド需要はありがたいことだが、現状のまま推し進めてもまちなかや商店街では対応しきれない面もあるのでは。	麒麟のまち観光局では、インバウンドに対応する環境整備を図るため、地域の商店街等を対象にキャッシュレスに係るセミナーの開催や多言語翻訳機の導入などへの支援を実施しているところです。
10	鳥取西エリアの観光資源の磨き上げの具体方法は？	鳥取西道路沿線地域の観光事業者や関連団体等が、観光資源の魅力アップや既存資源を活用した観光資源の創出、おもてなし向上に関する事業等に対して支援をする「鳥取市西道路沿線地域魅力づくり支援補助金」を設け、観光資源の磨き上げにつながる取組を行っています。
11	「食に関するコンテンツの開発」について、地域商社とつとりとの連携はできないか。	麒麟のまち観光局からは、連携は可能と伺っています。
12	若年層をターゲットとした取組の1つとして、モンスターハンターアイスボーンのコラボ砂像があると認識している。今回は駅前での展示とのことだが、今後砂の美術館で展示する動き等は出ているのか。前半のヒアリング(※)では試験段階と伺ったが、そこから何か変化があれば教えていただきたい。流行をおさえ、スピーディーに展開されているのは素晴らしいことだと考える。	<p>(※) 前回のヒアリングにおける「砂像のまちとつとり」に関連する質問と思われるので、このたびのヒアリング対象となる実施計画に直結しませんが、その後の進捗状況についての情報提供という形で回答いたします。</p> <p>砂像文化の醸成を目的とした砂のルネッサンスの取り組みの一環として、大手ゲーム会社「株式会社カプコン」の『モンスターハンターワールド：アイスボーン』とのコラボ砂像を制作し、本年9月28日に駅前風紋広場で公開しました。当日は、モンスターハンターのファンをはじめ県内外より多くの来場者があり、SNSのツイッター数も10月2日時点で1万6千件を超えるなどの反響がありました。砂の美術館での砂像展示については、砂の美術館総合プロデューサーや指定管理者と引き続き協議することになりますが、このような効果も検証しつつ、ターゲットを絞った砂像の魅力発信の手法の一つとして参考にしながら、今後の砂像事業に役立てていきたいと考えています。</p>

## 担当課ヒアリングに伴う、事前質問および資料請求内容

## ID6: 利便性が高く効率的な生活交通網の構築

(担当: 交通政策課)

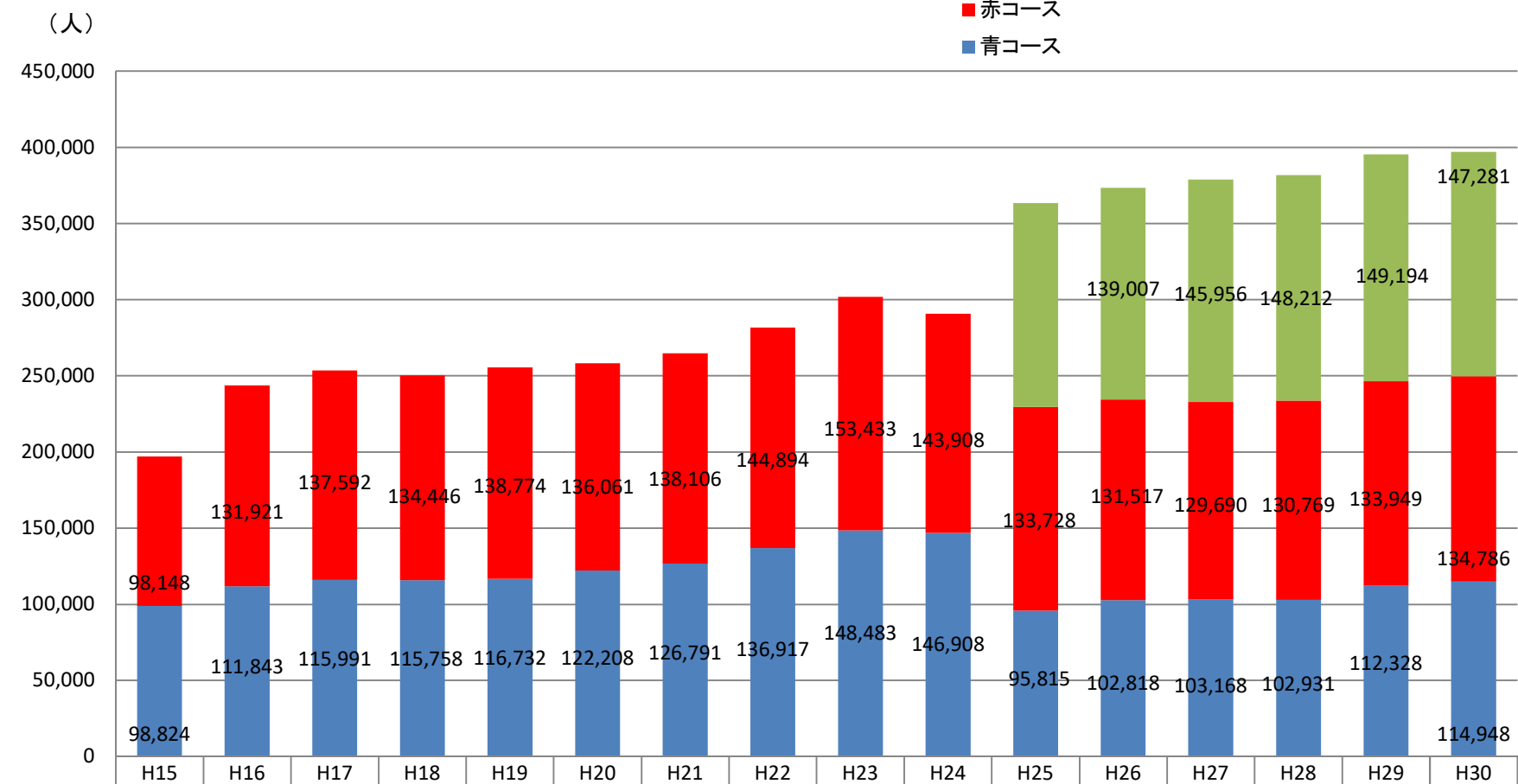
No	各委員からの質問・意見	回答・説明
1	年間約3億円の事業費の内訳を教えてください。	平成30年度の公共交通に関する事業費(実績ベース)は、路線バス:約2億2,530万円、循環バスくる梨:約4,000万円、乗り合いタクシー:約2,600万、市町村有償運送:約2,350万円です。
2	路線ごとの利用者数や利用率は?費用に見合っているのか?	利用者数・利用率は別紙1参照。 路線バスは、大半が赤字路線であるが、学生や高齢者等の交通弱者にとって不可欠な移動手段であるため、利用が少ない路線であっても赤字補填し維持する必要があります。
3	(No.2と併せて)「くる梨」バスの3路線ごとの利用者数データを提供いただきたい。(ここ3年分程度)	別紙2参照
5	(No.2と併せて)バスネットの利用状況がもし分かれば教えてください。(年間、月間のアクセス数等)	不明です。
4	平成27年度からほぼ目標(バスの利用者実績数)を達成している。あわせて、目標(成果指標)自体も変わっていない(3,251千人という利用者数)。目標設定の妥当性をどのように考えているのか。目標値を上げることは考えていないのか。	路線バス利用者数は、平成20年から10年間で55万人減少し、それに伴い路線の廃止や減便が続いている状況です。今後も人口減少、少子高齢化が進展し利用者は減少し、また、運転手不足を背景に路線の廃止や減便が続くことが想定されます。このような中で、まずは利用者の減少を抑制し既存路線を維持することが重要と考え、平成27年度の路線バス利用者数を維持することを目標値として設定しています。
6	生活交通網の構築・維持については、鳥取市の負担金額も大きい。その廃止に関しては、単純に利用者数、収支状況等で判断することはできないと思うが、どこに重きを置いているのか。	バス事業者は、利用状況や代替手段の有無等により、路線等の廃止や減便を判断します。

## 1 民間路線バスの利用状況

運行事業者	路線名	H30年度 年間利用者数 (人/年)	平均乗車密度
日本交通	岩井線	216,584	0.7
日本交通	市立病院線	5,923	1.4
日本交通	若桜線	136,755	1.3
日本交通	八坂線	6,662	0.9
日本交通	津ノ井倉田循環	10,314	1.6
日本交通	北園団地線	83,238	1.2
日本交通	大森中央病院線	8,264	2.6
日本交通	桜谷線	77,195	0.5
日本交通	若葉台線	544,693	0.9
日本交通	大覚寺線	11,825	1.4
日本交通	十六本松線	140,638	0.4
日本交通	雲山南団地線	47,559	2.3
日ノ丸自動車	市内岩倉	18,566	1.8
日ノ丸自動車	百谷	17,165	0.9
日ノ丸自動車	中河原	144,935	2.9
日ノ丸自動車	智頭	136,716	0.4
日ノ丸自動車	用瀬	73,303	0.5
日ノ丸自動車	佐治	59,047	0.4
日ノ丸自動車	西郷	13,399	0.9
日ノ丸自動車	江波赤波	30,232	0.5
日ノ丸自動車	散岐	2,247	1.4
日ノ丸自動車	神戸	30,744	0.3
日ノ丸自動車	横枕	8,159	0.2
日ノ丸自動車	日ノ丸本社	251	1.4
日ノ丸自動車	松上	77,723	0.9
日ノ丸自動車	吉岡	132,727	0.3
日ノ丸自動車	湖岸	119,294	0.2
日ノ丸自動車	佐治	87,002	0.7
日ノ丸自動車	賀露	123,405	0.8
日ノ丸自動車	鹿野	125,757	0.3
日ノ丸自動車	日置	45,052	0.1
日ノ丸自動車	勝部	43,505	0.1
日ノ丸自動車	東郷	14,713	1.3

## 年間利用者数推移

■ 緑コース  
■ 赤コース  
■ 青コース



■ 緑コース	0	0	0	0	0						133,848	139,007	145,956	148,212	149,194	147,281
■ 赤コース	98,148	131,921	137,592	134,446	138,774	136,061	138,106	144,894	153,433	143,908	133,728	131,517	129,690	130,769	133,949	134,786
■ 青コース	98,824	111,843	115,991	115,758	116,732	122,208	126,791	136,917	148,483	146,908	95,815	102,818	103,168	102,931	112,328	114,948
合計	196,972	243,764	253,583	250,204	255,506	258,269	264,897	281,811	301,916	290,816	363,391	373,342	378,814	381,912	395,471	397,015

## 担当課ヒアリングに伴う、事前質問および資料請求内容

## ID21:すごい！鳥取市婚活サポートセンターの運営、参加しやすい婚活イベントの実施

(担当:政策企画課)

No	各委員からの質問・意見	回答・説明
1	登録者の年齢割合や、それぞれの登録期間はどうなっているか。	令和元年9月末時点で、婚活サポートセンターのイベント会員は955人であり、年齢構成は、 ・20代 217人(22.7%) ・30代 488人(51.1%) ・40代 219人(22.9%) ・50代 31人(3.2%) です。また、会員に登録してからの期間の内訳として、登録して6カ月未満が155人、1年未満が115人、2年未満が338人、2年以上が347人となります。
2	イベントの中身(プログラム)を知りたい。	平成30年度のイベント開催実績の一例として、 ・「ピザ窯で焼く！手作りピザParty」 ・「秋の散策婚活～秋のめぐみの里山巡り～」 ・「残暑を涼もう！苔玉作り婚活」 ・「仕事帰りのミニスポーツ婚活」 といった趣味趣向に応じた様々なイベントを開催しております。
3	イベント参加者の年齢構成・男女比を知りたい。	平成30年度のイベント参加者(相談会等含む)の合計人数(延べ人数)は824人で、年齢構成についてはアンケート調査より把握している数字となり(合計延べ人数666人)、 ・20代119人(17.8%) ・30代426人(64.0%) ・40代118人(17.7%) ・50代3人(0.5%)、 男女比としては男性426人(51.7%)、女性398人(48.3%)でした。
4	兵庫県香美町・新温泉町の男女参加数はどうなっているか。	令和元年9月末時点で、登録されているイベント会員のうち、兵庫県香美町の方が16人(男性11人、女性5人)、新温泉町の方が21人(男性16人、女性5人)です。 平成31年3月の麒麟のまち圏域拡大後に開催したイベント参加者のうち、兵庫県香美町の方が8人(延べ15回参加)で、男女の内訳が男性5人(延べ10回参加)、女性3人(延べ5回参加)、 新温泉町の方が12人(延べ23回参加)で、男女の内訳が男性10人(延べ17回参加)、女性2人(延べ6回参加)です。
5	年齢などを絞った形でのイベントは開催されているか。(ボーダーラインと言われる35歳以上など)	イベント募集を行う際、年齢条件を設定し、募集・開催をしています。主な条件設定としては、「20歳～39歳」、「20歳～35歳」、「30歳～」といった条件での開催を実施しています。
6	広報をどのようにしているのか知りたい。	婚活サポートセンターホームページ、市報でのお知らせのほか、サポートセンターのちらしを市役所及び麒麟のまち圏域各町役場や観光施設やショッピングモール等の集客施設、イベントを開催したレストラン・カフェ店舗等に配架しております。

7	自己評価や次年度の取組方針としてアフターフォローの充実が挙げられているが、具体的にはどのような取り組みを指すのか。	イベントでカップル成立に至った方には、イベント直後に、ヒアリングシート及びスタッフのヒアリングによりカップル成立者の情報・状況を把握し、イベント数日後及び数ヶ月に1回のペースでメール・電話によるフォローを実施しています。 また、カップル成立に至らなかった方で希望があった方に対し、婚活の進め方など様々な相談への対応・アドバイスをしています。
8	成婚なさった方の本サポートについての評価を知りたい(良かった点や改善した方がよいと思われる点等)。	成婚された方からいただいた評価として、以下の内容があります。 ・「結婚願望が強く、結婚を意識している男性と出会いたいと思っていたので、婚活センターのイベントは安心感がありました。」 ・「私が参加した婚活は少人数のごはん会のように、とても気楽な感じで皆さんと話せました。また、婚活スタッフとお喋りもすごく楽しかったです。」 ・「初めての婚活でしたが、〇〇作りをしながらという気軽に話せる場所でした。堅苦しくなく、1人1人の方と気軽に話すことができたのが良かったです。」 以上の内容から、行政がサポートセンターを運営することへの安心感や趣味趣向に応じた小人数でのイベントについても評価をいただいております。今後も継続して実施していくことが必要と考えております。
9	同イベントは鳥取市での定住人口増加が目的のひとつとなっているが、イベント参加者及び成婚者の現在の居住地の状況はどうなっているか。わかっている範囲で教えていただきたい。	現在の住居の状況について、イベント参加者は、会員登録時、住所についても登録していただき把握しております(麒麟のまち圏域87.7%、圏域外12.3%※令和元年9月末時点)。成婚者については、住所の報告まではいただいております。
10	目標設定(成果指標)の根拠がよくわからない(毎年成婚15組ずつ増)。また、その妥当性に疑問を感じる。	5年間で300組のカップル数を目標に、その2割程度が成婚するという想定のもと、5年間で成婚数60組(1年で12組)という目標を設定しております。
11	外部へ委託している事業費の内訳を教えてください。	平成30年度委託費の内訳は、婚活コーディネーター及び事務局の人件費等として3,996千円、イベント開催費として4,374千円、ホームページ及びシステム管理、ちらし制作費といった広報費等として1,830千円の合計10,120千円です。

## 担当課ヒアリングに伴う、事前質問および資料請求内容

### ID24: 放課後児童クラブの運営のあり方の見直し

(担当: 学校教育課)

No	各委員からの質問・意見	回答・説明
1	各施設の定員充足率を教えてください。(事前に提供された資料では定員と児童数の実数表示のみなので追加資料をいただきたい。)	別添資料のとおり
2	目標設定(成果指標)を「利用者数」にしていることの原因を知りたい(また、H30年度からの切りのよい数字ではない(2,646人等)設定の理由)。あわせて、取組内容で「～運営のあり方の見直し」とあるが、これとの関連がよくわからない。そもそも「運営のあり方」とは何のことなのか。運営主体? 設置基準(拡充・分割)?	目標設定については、平成27年度から子ども・子育て支援の充実を目指す「子ども・子育て支援新制度」が施行され、高学年を含めたすべての小学生が入級対象となったことから、利用者数を目標値に設定しました。 また、数値については年次的な増加率を基に算定しています。 運営のあり方の見直しについては、拡充・分割等を行う児童クラブでは、運営主体である「保護者会」の負担が大きいと認識しており、この運営主体について、NPO法人や社会福祉法人等の運営転換を検討しているところです。
3	支援員の能力不足をよく耳にする。どのような研修が行われているのか。	放課後児童クラブを対象とした研修は、市だけではなく県、一般財団法人等で年10回以上開催しています。内容としては、発達障がい児研修、安全管理研修、労務管理研修に加え、学齢期保育研修等も行っていきます。
4	引き続き利用者数の増加に対応していくうえで、質の確保・向上もより一層求められることが考えられる。次年度の取組方針にある運営主体の転換はその一環であると思われるが、現在の満足度や要望等を適宜アンケートで拾い上げてよいのではないかと感じる。	各放課後児童クラブでは、適宜、児童クラブ運営等に対するアンケートを実施したり、意見BOX等を設置し、利用保護者からの要望、意見を聞く体制を設けています。 また、各放課後児童クラブから市への要望等については、毎年、鳥取市放課後児童クラブ連合会が各放課後児童クラブの意見を聞き、市へ要望していただいています。
5	分割・拡充とあるが、その決定基準はどういうものなのか。	1クラブの入級児童の上限を70人としていることから、これを超える入級が見込まれる際は、分割を行うよう進めているところです。 また、70人を超えない状況で、児童クラブ室が狭小と感じるクラブは、拡充として活動する教室等を増やすことで、保育環境の整備を行います。  分割: クラブを分け、新たなクラブを設立。 拡充: クラブを分けず、新たな活動室を利用。
6	平成29年度における事業費が491,672千円と大きいですが、これは施設整備に係る経費が要因と考えてよいのか。	平成29年度は、美保小学校の放課後児童クラブの施設整備(美保保育園改築工事)として108,870千円を執行しています。
7	同クラブに対するニーズは高く、引き続き支援していくことは大切であると考えられる。現在、運営を民間事業者へ転換しているが、事業者側の反応はどうか。(資金面・体制面の負担感等)	平成31年度、本市の放課後児童クラブ68クラブ中17クラブでNPO法人運営を行っています。これは昨年の9クラブと比べ、約2倍の増となっています。 事業者である法人では、人材確保に苦慮していると聞いています。



## 令和元年度 放課後児童クラブ定員充足率

No.	クラブ名	小学校	設立年度	クラブ設定定員 (人)	条例に基づく定員 (人) ※	児童の数 (人)	クラブ設定定員 充足率(%)	条例に基づく定員 充足率(%)
1	くわのみ	富桑	H7	48	48	45	94	94
2	あすなろ(1組)	浜坂	S48	40	42	38	95	90
3	わかあゆ	明德	S41	40	41	30	75	73
4	さくらんぼ	面影	H13	55	74	54	98	73
5	そらやま	津ノ井	H13	40	53	53	133	100
6	さくらのみち	修立	H11	50	56	54	108	96
7	あおぞら	美保南	H10	67	55	66	99	120
8	なかよし	末恒	S56	60	63	60	100	95
9	砂山	城北	S43	70	47	65	93	138
10	どんぐり	若葉台	H9	60	47	38	63	81
11	しいのみ	世紀	H13	65	64	57	88	89
12	美保小第1教室	美保	H13	40	42	32	80	76
13	やまびこ	日進	S43	52	51	60	115	118
14	ひまわり第一	岩倉	S59	71	90	71	100	79
15	こばと	中ノ郷	H7	70	60	66	94	110
16	ぽっかぽか	湖山西	H8	63	63	58	92	92
17	まつかぜ	久松	H14	43	43	48	112	112
18	元気っ子1組	稲葉山	H14	40	75	27	68	36
19	せんきょう	遷喬	H15	48	48	31	65	65
20	はとっ子1組	醇風	H15	45	48	44	98	92
21	とんぼ	米里	H16	46	46	51	111	111
22	かにっこ	賀露	H16	60	92	52	87	57
23	さじっ子	佐治	H13	60	92	52	87	57
24	うべのっこ	宮ノ下	H13	55	48	46	84	96
25	のびっこ	国府東	H15	20	13	37	185	285
26	ひだまり	福部未来学園	H13	70	36	59	84	164
27	あゆっ子	河原第一	H14	69	105	63	91	60
28	さんき	散岐	H14	49	49	15	31	31
29	さいごう	西郷	H14	26	26	21	81	81
30	浜村	浜村	H14	60	52	53	88	102
31	鹿野町	鹿野学園	H16	19	17	27	142	159
32	風の子	湖山	H19	50	58	55	110	95
33	もちっ子	用瀬	H19	35	93	49	140	53
34	海っこ	青谷	H19	71	100	63	89	63
35	こなんっ子	湖南学園	H20	40	44	35	88	80
36	美保小第五教室	美保	H20	55	64	50	91	78
37	あおぞら第二	美保南	H22	61	53	68	111	128

## 令和元年度 放課後児童クラブ定員充足率

No.	クラブ名	小学校	設立年度	クラブ設定定員 (人)	条例に基づく定員 (人) ※	児童の数 (人)	クラブ設定定員 充足率(%)	条例に基づく定員 充足率(%)
38	めだか	湖山・湖山西	H22	70	89	70	100	79
39	ちゃれんじ第1	城北	H22	48	40	47	98	118
40	うさぎ	美和	H23	36	36	41	114	114
41	あすなろ(2組)	浜坂	H23	40	42	38	95	90
42	第2しいのみ	世紀	H23	50	40	56	112	140
43	くるみ	大正	H24	39	72	34	87	47
44	たからの子	宝木	H24	19	19	15	79	79
45	砂山第二	城北	H26	35	18	30	86	167
46	第2なかよし	末恒	H26	35	40	32	91	80
47	日進第2やまびこ	日進	H27	40	40	40	100	100
48	めだか(つくし組)	湖山西	H27	40	66	38	95	58
49	うべのっこ第二	宮ノ下	H27	42	60	17	40	28
50	さくらのみち第2	修立	H28	50	97	37	74	38
51	くらだ	倉田	H28	19	44	23	121	52
52	さくらんぼ第2	面影	H28	40	66	40	100	61
53	ひまわり第二	岩倉	H28	40	71	22	55	31
54	あおぞら第三	美保南	H28	36	66	23	64	35
55	みずほ	瑞穂	H29	19	26	13	68	50
56	あすなろ(3組)	浜坂	H29	36	36	27	75	75
57	美保小第2教室	美保	H30	40	41	32	80	78
58	美保小第3教室	美保	H30	40	41	31	78	76
59	美保小第4教室	美保	H30	40	41	33	83	80
60	ちゃれんじ第2	城北	H30	40	30	39	98	130
61	とくよしポケット1組	浜坂	H31	40	45	42	105	93
62	元気っ子2組	稲葉山	H30	40	41	42	105	102
63	どんぐり第2	若葉台	H31	40	44	41	103	93
64	とくよしポケット2組	浜坂	H31	40	45	17	43	38
65	ぽっと	湖山	H31	35	36	25	71	69
66	みらい	久松	H31	36	36	21	58	58
67	はとっ子2組	醇風	H31	40	63	18	45	29
68	みつばち	鳥大附属	R1	40	64	5	13	8
計	68クラブ							

※ 条例に基づく定員とは、「鳥取市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」に定める児童1人当たり概ね1.65㎡の区画面積を基に算定(平成27年度)